



多治見市立北陵中学校
 多治見市旭ヶ丘10-6
 TEL 0572-27-6068
<http://school.city.tajimi.gifu.lg/~hokryo/>

「心のブレーキ」が使える生活を...

北陵中学校長 福井 寛

12月も残すところあと5日。平成26年の締めくくりの時を迎えています。この一年間も、北陵中生は大きく成長しました。保護者のみなさんも、体育祭や合唱祭、授業参観などの機会にそれを実感されたのではないのでしょうか。それは、先日ご依頼をして提出していただいた「保護者アンケート」の結果にも表れていました。(厳しく、有り難いご指摘も多くありましたが…。まとめて分析ができ次第、学校報で報告させていただきます) 生徒たちが成長ができた最大の要因は、本校の教育活動に保護者の方々の理解と協力があったことです。さらに地域の方々の温かなまなざしと協力も大変心強いものでした。この紙面を借りて感謝申し上げます。『ありがとうございます。』



しかし、学校内外の生活で気になる言動がないわけではありません。明日から12日間の何かと誘惑の多い冬休み中に「事故や事件に巻き込まれないこと」を願って、今日の冬休みを前にした集会で、以下のような話をしました。(昨年も話しました)

「自転車や自動車に付いている、なくてはならないものは？」それはブレーキですね。では、「ブレーキには、2つの役目がありますが、何かわかりますか？」

1つ目は、動いている自転車や自動車を「止めるため」の役目があります。

2つ目は、自転車や自動車が「スピードを出すため」の役目があります。

わかりにくい人は、ブレーキのない自転車や自動車に乗ることを想像してみてください。怖いですね。止める道具のない乗り物ではスピードを出せません。いつでも止めることができるブレーキが付いていれば、その性能に合わせたスピードを出すことができるんですね。この冬休みは、「スピードを出させる」いろいろな誘惑が多くある時期です。君たちが何かをやる時など、大きな衝突事故を起こさない『心のブレーキ』を持って過ごして下さい。「やり過ぎてないか」「相手は嫌がっていないだろうか」と考えることのできる性能のいい『心のブレーキ』が、自分だけでなく仲間を事故や事件から救うこともあります。ぜひ快適なドライブ(過ごし方)をして、気持ちの良い新年を迎えて下さい。

1月8日に元気に会えることを楽しみにしています。

ご家庭でも、時々『心のブレーキ』の性能を確認して下さいと有り難いです。
それでは、皆さん！ よいお年をお迎えください。

北陵中生 活躍の記録

おめでとうございます。

- | | |
|--|-------------|
| ◆ 9/26 「中学生『ものづくり』作品コンテスト」 東濃審査会 | 最優秀賞 |
| 11/8 「 」 県審査会 | 入選 1年 大溪 友也 |
| ◆ 11/16 「福祉一行詩コンクール」 | 佳作 1年 寺澤 歩佳 |
| ◆ 12/13 「JA共済小・中学生書道コンクール」 条幅の部 | 優秀賞 |
| 「 」 半紙の部 | 入選 2年 吉野 舞 |
| ◆ 12/19 「家族の約束十二カ条三行詩コンクール」 | 入選 3年 稲垣 紗葵 |
| ◆ 10/12 「市内中学生バスケットボール大会」 男子の部 | 第3位 |
| 「 」 女子の部 | 第3位 |
| ◆ 12/20 「第19回多治見市中学生ソフトテニスインドア大会」 男子の部 | 優勝 |
| 2年 長瀬 功樹、杉浦 秀飛、大岩 哲兵、水野 港斗、加藤 琳、黒田 翔誠、西村 匠生 | |
| 1年 堂ノ脇 琉晟 | |
| 「第19回多治見市中学生ソフトテニスインドア大会」 女子の部 | 優勝 |
| 2年 宇野 華花、塩崎 夏菜、土屋 奈々、丸山 ななほ、安藤 由衣、加藤 寿なほ、坂本 愛音 | |

『本気・プライド・感動』北陵中合唱祭

スローガン「Memory Sounds」のもと、12月5日に北陵中体育館で合唱祭が行われました。どの学級でも取組中に様々な問題が生まれ、それを一つ一つ本気になって克服しながら本番を迎えました。学級全員で最高の合唱をしたいというプライドをもって、仲間との「かかわり」を大切に取り組んできました。合唱祭には、約200名の保護者の方々や福祉施設入所者の方々、学校評議員さんなど地域の方々に来校していただき、生徒たちの合唱を聴いていただきました。「合唱＝北陵中の伝統」であることを、全校生徒・先生・来ていただいた方々が実感できた感動的な合唱祭になりました。



【最優秀賞の1年3組 2年1組 3年3組の合唱の様子 (左から順)】

（保護者の方々の感想）

- 初めての合唱祭でしたが想像していた以上に感動させてもらいました。特に3年生の歌声はすばらしかったです。迫力があり、ハーモニーもまとまりがあり、心に響くものがありました。どのクラスも「文化委員のおかげで！」というコメントが多くありました。始めはまとまりがなかった様子が伝わり、係の子の呼びかけからクラスに団結が生まれていった過程を感じました。子ども達の成長を感じさせてもらった合唱祭。来年、再来年と先輩達のような歌声が聴けることを楽しみにしています。1年生の「花は咲く」、涙が出るほど感動しました。（1年生保護者）
- 文化委員の皆様をはじめ、生徒会、先生も含めとてもスムーズで素敵な合唱祭でした。初めて見に行ったのですが、各クラスが最優秀賞を目標に向かっている姿がとても伝わってきました。1年生より2年生、さらに3年生と伝統が継承されているなど感心しました。私の中学の時も合唱に力を入れて取り組んでおり、その頃を思い出し、胸が熱くなりました。最後の佐伯先生の3年生への言葉には、私も同感で「歌での成長ぶりってすごいんだな」と大人になったからこそ分かるものもありました。子ども達とも家で話題にし、来年更にはいい合唱が聴けることを期待しています。（2年生保護者）
- 学級通信で先生からクラスの取組の様子を知らせていただき、中3今年最後ということで無理矢理（仕事の）休みをとり、参加することができました。3年生はさすがに上手でした！！男の子の声の出方や女の子の高い声、全員の気持ちが一つになっている様子がとても伝わってきました。歌の前の紹介の文で早くもウルウルでした。「友を大切にしている気持ち、つながっている思いをこれからも大人になってもずっと大切にしてほしいな」と願っています。涙・涙でした。元気をもらえました。素敵な合唱！！参観できてよかったです。聴く姿勢もどの学年もとてもよかったです。（3年生保護者）

親育ち子育ちコーナー

会釈（えしゃく）

多治見市教育委員会

車に乗っていて時々出会う光景である。横断歩道で横断を待つ子どもがいるので停車すると、左右の安全を確かめて、横断をする前に会釈をする子どもの姿。また、横断した後に、方向を変えて運転者に向かって会釈する子どもの姿がある。これらの子どもの姿には、学校での登下校時の安全やマナーの指導があるのかもしれない。

先日ある方から、「横断歩道を親子ふたりで渡り、横断後に親が自分も会釈しながら、子どもにも運転者に会釈するように促す姿に出会い、その日一日気持ちの良い日を過ごすことができた。」と聞いた。この話を聞いて、その親子の家庭での様子を想像してみた。

横断歩道は歩行者の方が優先であるし、歩行者に会釈を求めているのでない。

歩いている時などに、地域の方や子どもとすれ違う時に、お互いの軽い会釈で気持ち良い思いが心に広がることが多い。年末年始で大変お忙しい家族もあるが、子どもが家族や地域で過ごす時間もある時期である。家族で会釈の意味を考えてみてはいかがでしょうか。

今年最後の学校報です。今年も地域・保護者の皆様に大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。